



岩手県立大学
Iwate Prefectural University

看護学部 基礎看護学講座
三浦 奈都子
natsuko@iwate-pu.ac.jp

健康な人から 病気を学ぶ！

異常値表示システム

特願2016-031466

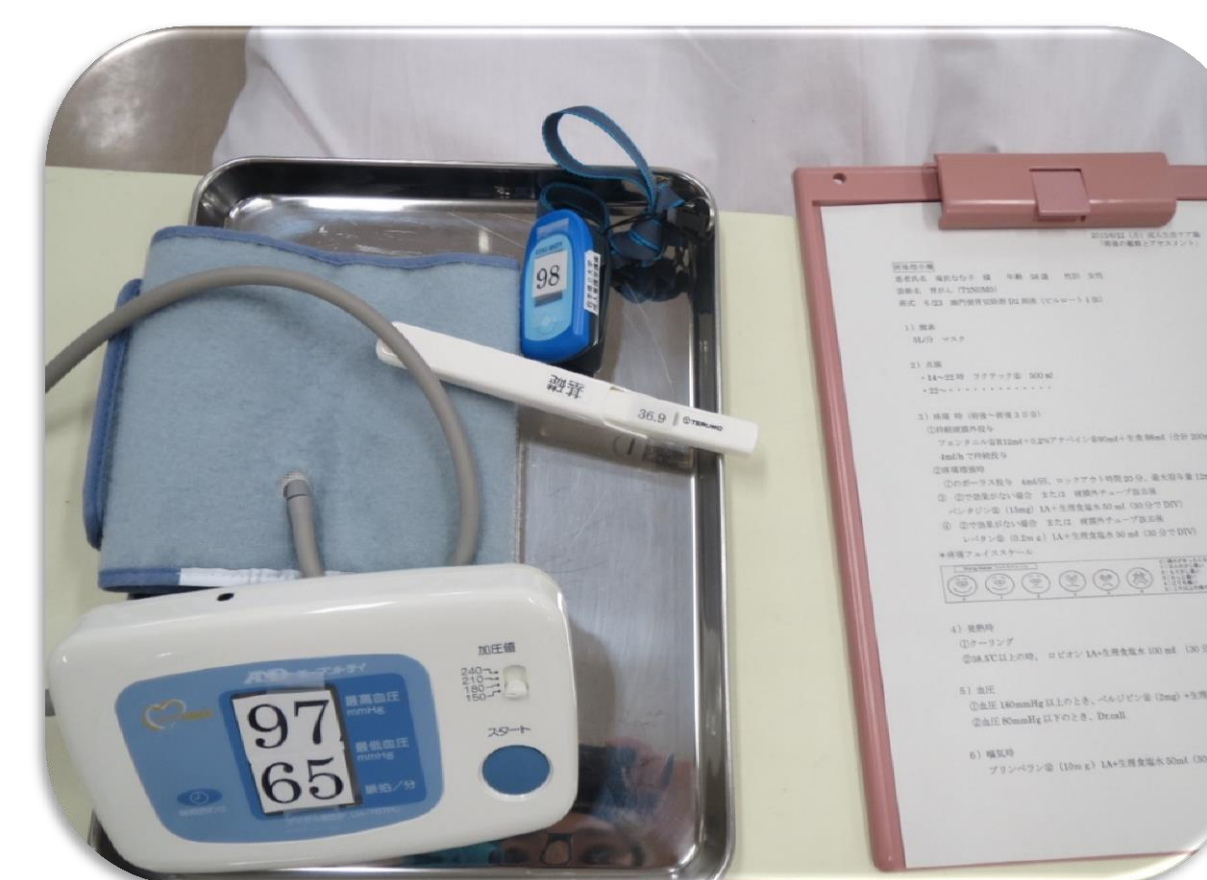
背景

- 高度化かつ複雑化する医療に対応し得る実践能力を有する人材の育成が求められている。
- 世界的にもシミュレーション教育が重要視され、実施されている。



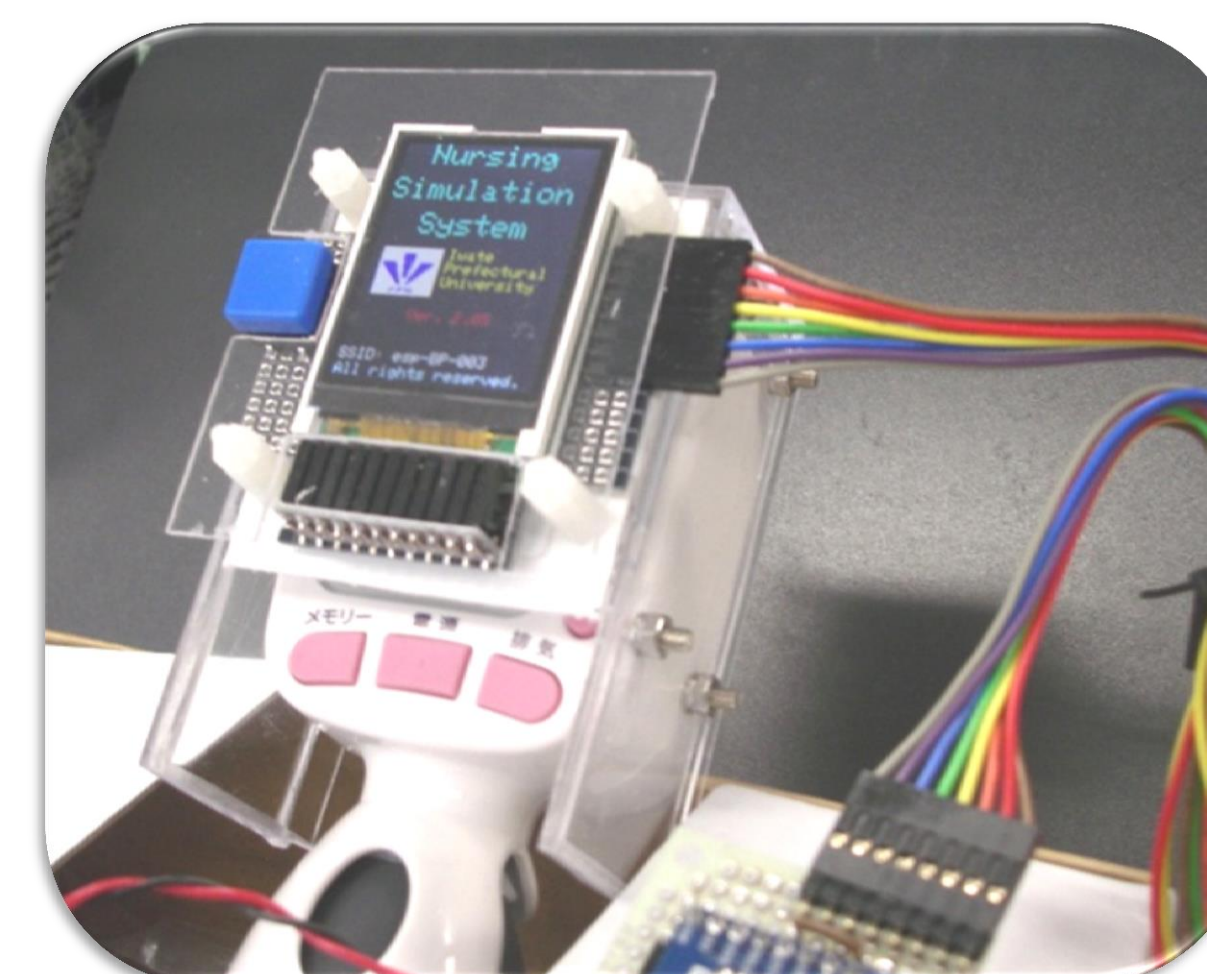
問題点

- 患者のバイタルサインズ（生命兆候）を再現できるシミュレータは数百万～1千万円の高価な機器である。
- 模擬患者や学生同士の演習では、健常者対象であるため異常値は再現不可能である。



解決策

- 生体情報などの測定機器に、意図的に異常値や正常値を表示させるためのシステムを組み込む。
- 模擬患者（健康な人間）を測定しても、病気を再現する異常な値を表示できる。



健康な人を本当の
（模擬）患者に！



医療の質向上
患者の安全

リアルな状況で
安心して何度も学習
することができる

医療者の

実践能力向上



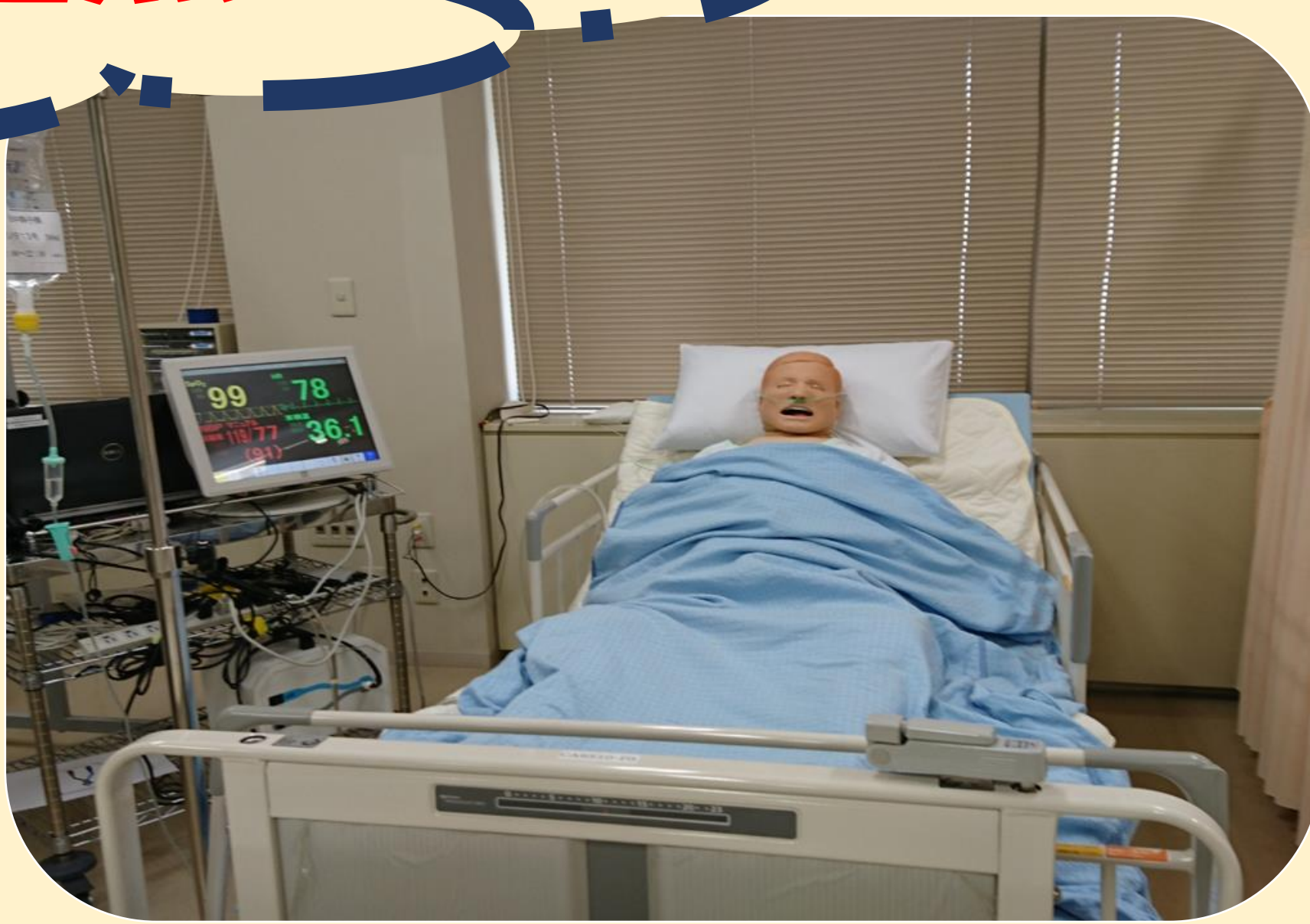
岩手県立大学
Iwate Prefectural University

健康な人から 病気を学ぶ！ 異常値表示システム

現状の問題点



大人数の演習



多種多様な生命兆候



模擬患者は健康

ハイブリット・シミュレーション・システム

各デバイスは、待機中に3秒間隔で
パラメータ設定用サーバーにアクセスする

パラメータはサーバーに保存される
各デバイスは、サーバーにアクセスし、
そのパラメータをダウンロードする

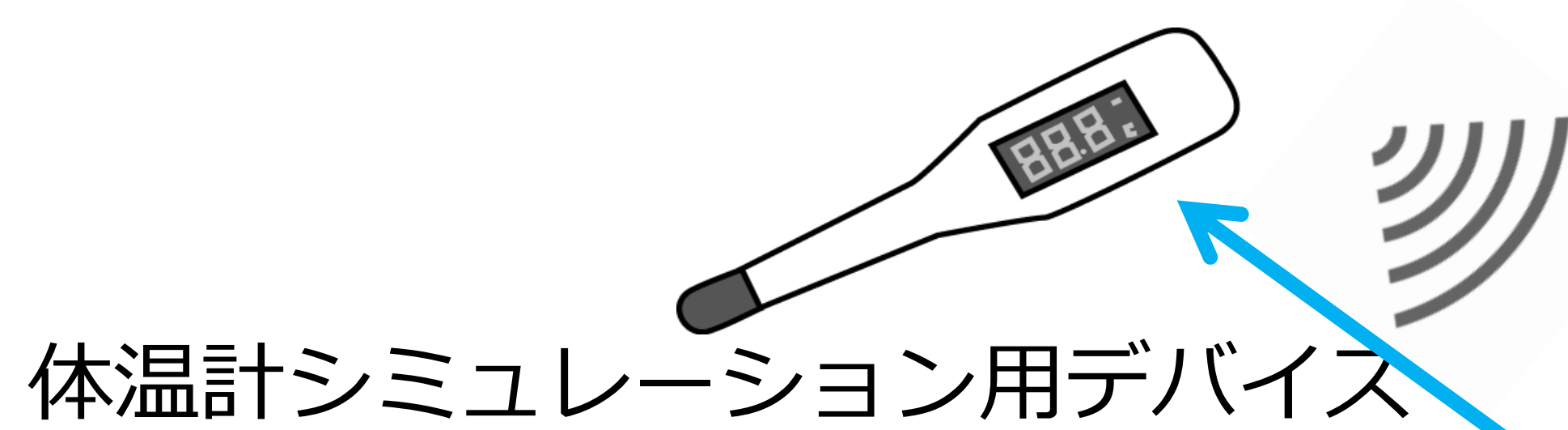
メリット

各デバイスを1つ1つ、パラメータを設定する必要がない

デメリット

各デバイスが同じパラメータを使うことになる

乱数により、ランダムに設定値が変化するようにすることで
デメリットを解消する



設定データを無線で送信

